

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	図書館・視聴覚ライブラリー	コード	03-02-05	作成者	役職	図書館長
		氏名	松本武彦	氏名	電話	64-1133
		電話	64-1133			

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目(基本施策)	生きがいのあるまつづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	豊富な知識や資料、様々な情報を提供する学習施設として、利用の場を提供する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	図書館は、本館、日生分館、吉永分館の3館で、本館は市民センター内に、日生分館は日生市民会館内に、吉永分館は吉永支所別館にそれぞれ併設されているが、各館とも閲覧室が狭いことから広い場所が望まれる。また、合併により遠隔地が増えたため、図書の貸出し活動の充実を図る必要がある。さらに、移動図書館車を昨年10月に購入し島を始め市内各地を運行しているが、運行回数が着きかであることから、一層の活用を図るようにしたい。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の充実 視聴覚ライブラリーの充実 	

施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
			H17		H18		H19		
			直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	
1 図書館運営事業	B	図書館運営事業	ソフト事業	17,938	10,412	24,165	16,235		
		県図書館協会負担金	ソフト事業	11		11			
2 視聴覚ライブラリー運営事業	D	視聴覚ライブラリー運営事業	ソフト事業	420	2,910	341	3,360		
		県AVL連絡協議会負担金	ソフト事業	7		7			

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17	H18	H19
	31,698	44,119	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

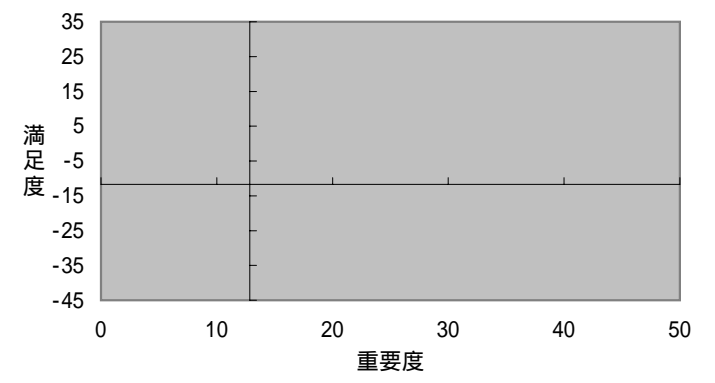
実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
市内小中学校	図書館司書と学校司書との情報交換を行う	児童生徒の図書に関する情報を得て、図書購入の参考にする。

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	貸出し冊数を7冊から10冊にしたことから、大幅な増となった。視聴覚教材等は、新規購入ビデオは利用されるが古い物はほとんど活用がない。また機材も古いことから新しく購入したいが、現状では予算確保が困難である。	3	図書の一人あたりの貸出し数は増加しているが、利用者数の増減が不明。利用者の拡充を図る上で利用者数(実人数)を指標に加えてはどうか。
2 事業構成の適当性	3	図書館運営事業は、図書館の利用促進のための事業であり、今後も継続していく必要がある。特に、新たに購入した移動図書館車の活用に力を入れていきたい。視聴覚ライブラリー運営事業は、利用者が限定され、利用も減少もしていることから見直す必要がある。	3	視聴覚ライブラリーについては、利用者が限定され、利用件数も減少している。廃止を含めた検討が必要。
3 施策の有効性	3	図書館の利用拡大の一環としてブックスタート(乳幼児健診で絵本を配る)や読み聞かせ講座を行っている。移動図書館車による運行は、島を始め市内各地に運行しており、今後は運行回数・場所等を検討したい。視聴覚教材等は、実績と内容を見ると、継続を検討する必要がある。	3	同左
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	図書館事業については、ブックスタートや読み聞かせ講座等へのボランティアの更なる活用を図ってきたい。移動図書館車については、利用拡大を図るため、市内への運行回数の増の検討や企業等への巡回を検討する。図書の購入については、書架の限度もあることから、県内の図書館の相互貸借システムの啓発を行う。ライブラリー事業については、現状を考えると廃止を含めた検討も止むを得ない。		電算システムが構築され、本館及び日生・吉永各分館がインターネットで結ばれ、3館の図書貸出しが可能になったことから、単なる本館・分館の画一的な図書整備ではなく、3館それぞれが特色や機能を持った図書館となるような取り組みが必要である。	
二次評価者コメント	事務事業の見直しとともに事業のより一層の効率化を図る。			平成20年度 予算の方向性 減配分

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			



調査結果に対するコメント、市民の反応等
 調査対象でない施策の場合は、市民の反応等
 市民意識調査で図書館・ライブラリーに関する重要度満足度は問われていないが、普段の図書館業務の中では、新刊本の購入希望を多くいただいているが、厳しい予算の中では、すべての要望を満たすことは困難である。また、レファレンスは多くあるが、司書への対応に関する苦情は無い。昨年あった、コピーについては実施している。視聴覚ライブラリーについては、利用者が限定しており、利用も新規購入分に集中することから、今後の運営について検討する必要がある。

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H20	H28		
1 1人あたりの貸出し冊数	目標	冊	4.0	4.0	3.5		人口一人当たりの年間貸出し冊数
	実績	冊	2.7	3.0			
	達成率	%	67.5	75.0			
2 教材機材、ビデオ、DVDの貸出し件数	目標	件	230.0	230.0	230.0		貸出し件数
	実績	件	177.0	126.0			
	達成率	%	77.0	54.8			
3	目標						
	実績						
	達成率	%					
4	目標						
	実績						
	達成率	%					